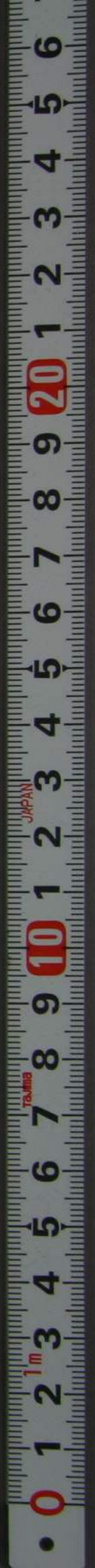
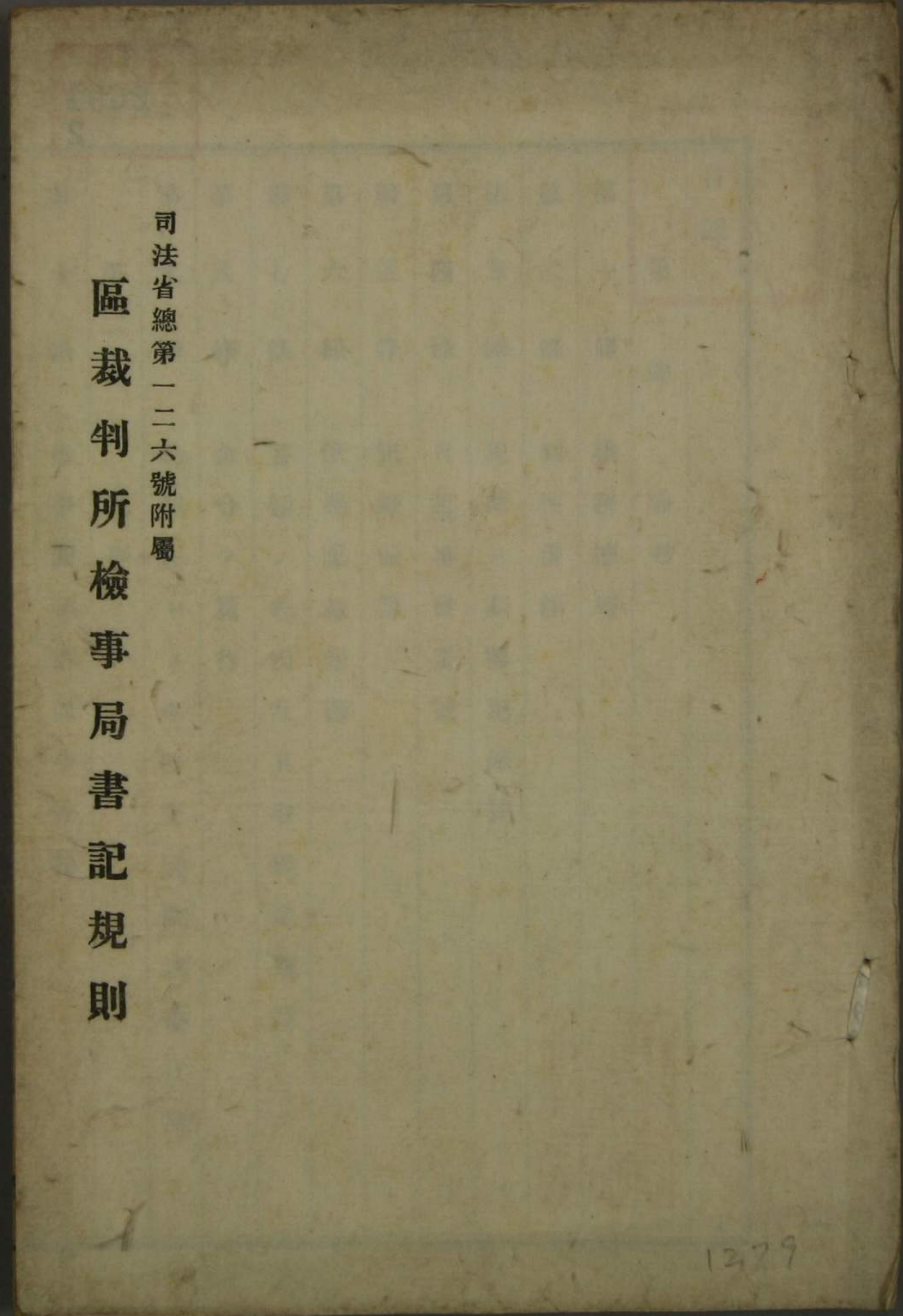


區裁判所檢事局書記規則  
司法省總第一二六號附屬



1279

114  
A2694  
2



第十條	第二節	第九條	第八條	第七條	第六條	第五條	第四條	第三條	第二條	第一條	第一節
檢事關係訴訟事件簿	民事	執達吏トノ事務交通執達委任簿	命令ノ實行	書類ノ差出及其取扱定期簿	庶務記錄帳簿	記錄帳簿	日記、事務番號	記錄ノ調製、記錄號	到來書類	職務總則	通則



大正十一年四月  
贈

第三節 刑事

第十一條 内部事務ノ區域

第十二條 手扣記録

第十三條 前手續事件簿

第十四條 刑事々件簿

第十五條 共助事件簿

第十六條 物品受渡簿

第四節 附則

第十七條 第十八條 附則

區裁判所檢事局書記規則

第一節 通則

第一條 區裁判所檢事局書記ハ調書、文書命檢事ノ依

ル起草書ス及謄本ヲ作り罰金、科料、過料、訴訟費用、

沒收物品及追徵金ノ徵收ヲ爲シ記録及書類

ノ整頓保存ヲ掌リ帳簿及表ヲ作り其他事務

取扱上必要ナル事務ニ服スヘシ

區裁判所檢事局ニ雇員ヲ置キタルトキハ淨

書、謄寫及記録編綴ニ從事セシメ其他書記ノ

事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二條 到來ノ封書ハ其宛名ニ從ヒ主務ノ檢

事若ハ書記之ヲ開披ス單ニ檢事局宛ノモノ

ハ檢事之ヲ開披ス

書類ヲ受付クルトキハ書記其外面ノ見易キ  
所ニ年月日ヲ記入シ附屬ノ書類アルトキハ  
其數ヲ附記スヘシ

第三條

同一ノ民事、刑事ノ事件ニ關スル書類  
ニ付記録ヲ作ル又同種ノ事件ニ關スル書類  
ハ類聚記録又ハ庶務記録ト爲スコトヲ得  
各記録ニハ記録號ヲ附ス庶務記録ノ記録號  
ハ庶務記録帳簿ノ節ノ數字及其番號ヲ以テ  
之ヲ作ル(例ヘハ第一號ナレハ  
「壹一」ト記スルノ類ノ如シ)其他ノ記録ノ記  
録號ハ各事件簿ノ符號文字及進行番號ニ事  
務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル(例ヘハ二三  
一六)ト記スル類ノ如シ)

記録ハ每葉丁數ヲ附ス其表紙ハ厚紙ヲ用ユ  
ヘシ檢事長ハ或ル種類ノ事件ニ付定式ノ表  
紙ヲ用ヒサルコトヲ定メ且通常ノ紙ノ表紙  
ヲ用ユルコトヲ定ムルヲ得  
表紙ニハ檢事局及事件ノ名、民事ノ原被告人  
又ハ刑事ノ被告人ノ氏名并ニ記録號ヲ記シ  
勾留事件ハ勾留事件タルコト其他特別ニ至  
急ヲ要スル事件ハ至急事件タルコトヲ記ス  
ヘシ  
記録ヲ既済トシテ藏置スルコトハ事件終局  
ノトキ檢事ノ命令ニ從ヒ之ヲ爲ス  
記録ノ表紙ニハ既済トシテ藏置スル年度及  
保存ノ終ル年ヲ記スヘシ

類聚記錄ハ一年間ヲ一冊又ハ數冊ニ編綴シ  
 其表紙ニハ單ニ事件ノ名既濟トシテ藏置ス  
 ル年度及保存ノ終ル年ヲ記スルコトヲ得  
 第四條 書類ノ受授ヲ明ラカニスル爲書式第  
 一號ニ從ヒ日記ヲ作ル此日記ニハ總テノ書  
 類ヲ登記ス但送達證書ハ檢事命令ノ記載ヲ  
 要スルトキノミ之ヲ登記ス附屬書類ハ特別  
 ノ必要アルトキ又ハ錯誤ヲ防クニ必要ナル  
 トキノミ或ル書類ニ附屬スルモノナルコト  
 ヲ記ス(例ヘハ五六ニト記シ第五十六號書類  
 ニ附屬ノ旨ヲ示スノ類ノ如シ)  
 記錄號ト日記番號トヲ併記シ事務番號ト爲  
 ス事務番號ハ各書類ノ第一丁ノ右ニ附ス

日記ノ登記ハ到來ノ日之ヲ爲スコトヲ要ス  
 書類到來ノ日主務書記ノ手ニ達セサルトキ  
 ハ第二欄ニ兩日ヲ記スヘシ  
 記錄ノ初メニハ番號目錄紙ヲ附スヘシ目錄  
 紙ニハ年度ヲ題記シ次ニ日記ノ番號ヲ順次  
 ニ記スヘシ處分濟ノ書類ヲ記錄ニ綴込又ハ  
 之ヲ他ニ遞付スルトキハ目錄ノ番號ヲ抹消  
 シ且書類ヲ他ニ遞付スル場合ニ於テハ其遞  
 付先ヲ記スヘシ  
 第八欄ハ同欄ニ記シタル事務ノ一年間ノ數  
 ヲ容易ニ知り得ル爲ニ設ク事件ヲ前手續事  
 件簿ニ登記シタルトキ即チ事實ヲ取調フル  
 爲ノ手續ヲ爲シタルトキハ第八欄「ロ」ノ小欄

ヲ用ヒス  
書類検査局ニ在ル間ハ其取扱手續ニ付証明  
ヲ要セス第九欄ハ検査局ヨリ他ニ遞付スル  
トキノミ之ヲ用ユ  
第五條 記録ハ帳簿(即チ事件簿)ニ登記シ且其  
登記ノ順序ニ從ヒ之ヲ保存ス  
帳簿ハ一年一冊ト爲スヲ例トス然レモ事務  
年度終リタル後前年度ノ分ト合綴スルハ便  
宜ニ任ス  
一年間帳簿ニ記載シタル結果ハ年末ニ至リ  
集合シテ事務一覽表ニ掲クヘシ新タニ調製  
スル帳簿ニ記録ヲ移記スルコトハ(此場合ニ  
ハ從來ノ記録號ヲ附スヘシ)第三年ノ初メニ

於テ尙ホ未済ナルトキニ限リ之ヲ爲ス前年  
ノ帳簿ニ月日ヲ記入スルトキハ其記入ノ年  
ヲ附記スヘシ  
記録ノ終局遞付ハ記録帳簿ニ記スヘシ  
第六條 庶務記録ノ帳簿ハ書式第二號ニ從ヒ  
之ヲ作ル  
庶務記録帳簿ハ事件ノ種類ニ從ヒ數節ニ分  
チ之ヲ記ス  
庶務記録トハ司法ノ行政及監督事務ニ屬ス  
ル記録其他特別ノ規程ニ係ル帳簿ニ載スヘ  
カラサル一切ノ記録ヲ謂フ  
第七條 到來書類ハ記録又ハ關係書類ヲ添附  
シ検査命令ヲナス爲差出スヘシ送達證書ハ

檢事命令ノ記載ヲ要スルトキ又ハ書記其職  
 務上ノ調査ニ依リ正式ノ送達ナカリシコト  
 ヲ見出シタルトキノミ之ヲ差出スヘシ  
 事務取扱中ノ書類ハ事務取扱上經過ノ程度  
 ニ從ヒ之ヲ區別ス例ヘハ  
 一 事務番號ヲ附スヘキ書類(新事件)  
 二 檢事命令ヲナス爲ニ差出スヘキ書類  
 三 寫字生、執達吏等ニ交付スヘキ書類  
 四 既濟ノ書類  
 事務取扱中ノ書類ニハ之ニ屬スル記録又ハ  
 關係書類ヲ添附ス特別ノ原因殊ニ記録及其  
 附屬書類ノ大部ナル爲ニ分離ヲ要スルトキ  
 ハ之ヲ合併スルヲ得ルニ至ルマテ各別ニ之

ヲ保存ス  
 書棚并ニ書類入ノ外ニハ現ニ取扱中ノ事務  
 ニ屬スル記録及書類ニ限リ之ヲ置クコトヲ  
 得  
 期日及期間ハ書式第三號ニ從ヒ作ルヘキ定  
 期簿ニ書記之ヲ掲クヘシ進行番號ハ登記ヲ  
 爲ス日毎ニ數字ノ一ヲ以テ始ム  
 記録ハ檢事ヨリ他ノ命令ナキトキハ期日ヨ  
 リ二十四時間前ニ差出スヘシ  
 記録ヲ檢事ニ差出シタルトキハ進行番號ヲ  
 抹消シ之ヲ表示スヘシ  
 第八條 檢事ヨリ起草ヲ命セラレタル文書ハ  
 解シ易キ官用ノ文章ヲ以テ之ヲ記シ其文書

命令ノ實行

司  
法  
省

ニハ事件ノ標目及事務番號ヲ附記シ且欄外  
 ニ取扱ノ種類(例ヘハ郵便ニ付スル送達郵便  
 ニ依ル送達、書留郵便、執達吏ニ依ル送達、無手  
 數料送達、送付等)ヲ記シ之ニ從ヒ淨書及謄本  
 ヲ作ル此場合ニ於テ執達吏ハ其受取ルヘキ  
 書類ニ依リ何人ノ委任ニ依リ何人ニ送達ス  
 ヘキカ又如何ナル手續ニ依リ送達スヘキカ  
 又至急ヲ要スルヤ否ヲ知ルヘキモノトス右  
 ニ付書記ハ書類ニ必要ナル附記ヲ爲スヘシ  
 送達及交付ノ種類ハ畧語ヲ以テ記スルコト  
 ヲ得  
 官廳ヘノ回答書ニハ其官廳ノ事務番號ヲ記  
 スヘシ書式ヲ用ユヘキトキ之ヲ命令ニ掲ケ

サルトキハ書記其書式ヲ記スルコトヲ要ス  
 (例ヘハ書式二五ニト記シ書式第二十五號ニ  
 從フヘキコトヲ示スノ類ノ如シ)  
 書記ハ檢事ノ署名スヘキ書面ニ檢印シテ誤  
 謬ナキコトヲ證スヘシ  
 書記ハ遲滯ノ恐れアルトキ又ハ費用ヲ節減  
 シ得ヘキトキハ郵便ニ依リ送達ヲ爲サシム  
 ヘキモノトス(民事訴訟法第三百三十六條第三  
 項第四項刑事訴訟法第十九條)但特ニ執達吏  
 ノ送達ヲ要スヘシト思料スルモノハ此限ニ  
 在ラス  
 送達證書ヲ要セサル送達法律ノ規程ニ拘ハ郵便ヲ  
 以テ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ廷丁ヲシ



テ郵送シタルコトヲ證セシムヘシ  
 裁判所揭示板ニ貼附スヘキ書類ハ揭示簿ヲ  
 掌トル書記ニ交付スヘシ  
 第九條 書記ト執達吏トノ委任授受ハ可成口  
 頭ニテ之ヲ爲スヘシ  
 直チニ執行スヘキ委任ハ執達吏ニ送付ス其  
 他ノ委任ハ閉鎖スヘキ書函ニ書類ヲ差入ル  
 ルヲ以テ之ヲ爲ス書函ノ鍵ハ書記執達吏各  
 一箇ヲ持ツモノトス  
 書函ハ區裁判所書記課ニ設クルモノヲ流用  
 スルコトヲ得  
 書記ハ委任ニ關スル書類ヲ書函ニ差入ル、  
 トキ相當ノ區別ヲ爲シ置ク可シ(例ヘハ送達、

送付、執行、特別ノ官ノ委任ノ類ノ如シ  
 執達吏ハ定マリタル時間ニ檢事局ニ出頭シ  
 且求アリタルトキハ委任ノ取扱ニ付細報ヲ  
 爲シ新委任ニ付遺漏不完全ノコトアルトキ  
 ハ質問ヲ爲スヘシ  
 書記ト執達吏トノ委任授受ニ付テハ書面ヲ  
 以テ證スルヲ要セス若シ之ヲ必要トスルト  
 キハ書式第四號ニ從ヒ執達委任簿ヲ作ルヘ  
 シ  
 委任授受ニ委任簿ヲ用ユルトキハ委任書類  
 ニ其帳簿ヲ添ヘ書函ニ差入ルヘシ  
 第二節 民事  
 第十條 檢事關係訴訟事件ノ帳簿ハ書式第五

號ニ從ヒ之ヲ作ル記録號ヲ作ルニハ第一欄ニ記シタル進行番號ヲ用ユ

本條ノ事件ニ付テハ類聚記録ヲ作ル

第三節 刑事

第十一條 記録ノ調製及保存刑事ニ於ケル記録帳簿ノ取扱ハ區裁判所書記規則ニ於テ區裁判所書記ノ主掌ニ屬セサルモノハ檢事局書記之ヲ爲ス

檢事局書記ハ記録ノ差出ニ付區裁判所判事ノ命令ニ從フヘシ

第十二條

記録ヲ他官廳ニ遞付シ又ハ區裁判所ニ差出ストキ特ニ命セラレタル書類(原本又ハ謄本)ハ之ヲ殘シ置クヘシ此書類ハ記録

第十三條

前手續事件ノ帳簿ハ書式第六號ニ從ヒ之ヲ作ル前手續ニ關スル書類ハ特ニ記録調製ノ命ナキトキハ類聚記録ト爲ス

第一 捜査手續

捜査手續ニ付テハ(刑事訴訟法第四十六條乃至第六十一條)第一欄乃至第四欄ヲ用ユ檢事犯罪アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思料シ且捜査ノ手續ヲ必要トスルトキハ被告人

ノ誰タルコトヲ知ル能ハサル場合ト雖モ之  
 ヲ本帳簿ニ登記ス被告人ノ氏名ハ知リ得ル  
 ニ隨ヒ第二欄ニ記ス  
 檢事捜査手續ヲ停止シタル後更ニ訴ヲ起ス  
 トキハ第四欄ノ記入ヲ抹消シ備考ノ欄ニ其  
 事由ヲ記スヘシ  
 第二 前手續結局後ニ係ル手續  
 捜査手續ヲ爲シ被告事件區裁判所ニ起訴ス  
 ヘキモノナルトキハ第五欄第六欄ヲ用ユ  
 第三 前手續ノ終局  
 檢事捜査手續ヲ停止シタルトキ(第四欄)ハ第  
 七欄ノ「イ」及「ロ」ニ記シ其記録ハ帳簿ノ順ヲ以  
 テ保存スヘシ

公判ヲ開キタルトキハ其記録ハ公判ノ記録  
 ノ一部分又ハ附屬書類ト爲ル  
 第四 捜査ノ手續ナキ公判  
 檢事別ニ事件ノ捜査ヲ命セスシテ公判ヲ請  
 求シタルトキモ亦其事件ヲ第五欄第六欄ニ  
 記スヘシ  
 第十四條 刑事事件ノ帳簿ハ書式第七號ニ從  
 ヒ之ヲ作ル  
 第五欄ニ記スヘキ番號ハ各小欄(イ、ロ)ニ付數  
 字ノ一ヲ以テ始ム記録號ハ其小欄ノ符號文  
 字ト數字ヲ以テ作ル(例ヘハ二十三年違警罪  
 事件第五十號ナレハ二三(七)五〇ト記スルノ  
 類ノ如シ)

被告人一人ニ對シ數罪ノ爲公判ヲ開キタル  
 トキハ尤モ重キ刑ニ該ルヘキ犯罪ノミヲ第  
 四欄ニ記ス  
 帳簿ハ判事ノ數ニ應シテ之ヲ作ル  
 裁判所構成法第十六條ニ從ヒ地方裁判所又  
 ハ其支部ノ檢事局ヨリ移付シタル事件ハ第  
 五欄ノ番號ノ側ニ畫線シ見出ニ便スヘシ  
 間稅署又ハ間稅分署ニ於テ通告ヲ爲シタル  
 事件ハ備考ノ欄ニ之ヲ略記スヘシ(間接國稅  
 犯則者所分法第十一條)  
 第六欄ニハ事件ノ終局シタル裁判所ノ小欄  
 ノミヲ記ス其記入ニハ記錄號ニ用ユル第五  
 欄ノ符號文字ヲ用ユ

控訴裁判所原判決ヲ取消シタルトキハ備考  
 ノ欄ニ之ヲ略記スヘシ  
 上告裁判所原判決ヲ破毀シタルトキモ亦備  
 考ノ欄ニ之ヲ略記シ且上告裁判所其事件ヲ  
 自ラ判決シ又ハ原裁判所或ハ他ノ裁判所ニ  
 移シタルコトヲ記スヘシ他ノ裁判所ニ移シ  
 タル場合ニ於テ事件ハ帳簿上終局ト看做シ  
 第六欄ノ「ニ」ヲ記ス  
 輕罪、違警罪ニ付刑ノ言渡確定シタルトキハ  
 刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ氏名、年齢、身分、職業、  
 住所、現在地住所ナキトキ、出生ノ地、罪名、刑名、刑期、犯數  
 刑ノ言渡ヲ爲シタル年月日、及對審、闕席ノ區  
 別ヲ記シタル判決ノ通知書ヲ作り其住所又

ハ現在地ノ地方裁判所検事局ニ送致スヘシ  
 第十五條 検事局ニ宛タル他ノ官廳ノ囑託ニ  
 關スル書類ハ書式第八號共助事件簿ニ記ス  
 ヘシ  
 記録號ハ帳簿ノ進行番號ニ「キシ」ノ文字ヲ加  
 ヘ之ヲ作ル検事局ニ於テ成立チ囑託官廳ニ  
 遞付セサル書類ハ類聚記録ト爲ス  
 共助事件終局スルトキハ總テノ關係書類ヲ  
 囑託官廳ニ遞付スルヲ例トス  
 第十六條 刑事ニ付取扱フ金錢物品受渡ノ爲  
 書式第九號ニ從ヒ一年間ヲ包括スル受渡簿  
 ヲ作ル  
 物品ノ種類品質員數ノ記載ハ最モ明瞭ニシ

テ紛雜無カラシムヘシ  
 判決又ハ命令アリタルトキハ書記ハ遲滞ナ  
 ク處理スヘシ  
 此帳簿ハ毎月末ニ檢事ノ検査ヲ受クヘシ年  
 度内ニ處分ヲ終ヘサルモノハ進行番號ノ側  
 ニ畫線シ次年度ノ注意ヲ促シ次年度内尙ホ  
 所分ヲ終ヘサルモノハ之ヲ三年度帳簿ノ初  
 メニ移シ舊帳簿備考ノ欄ニ新帳簿ニ移シタ  
 ルコトヲ記スヘシ  
 一事件ニ關スル數多ノ物品ハ全一ノ進行番  
 號ヲ以テ之ヲ記シ其物品ニハ同番號及記録  
 號ヲ附スヘシ

第四節 附則

第十七條

刑事ノ統計表調製ニ付テハ現行ノ規則又ハ後來定ムル所ノ特別ノ規則ニ從フ

ヘシ

第十八條

從前ノ規則ニ從ヒ終局スヘキ事件ニ付テハ帳簿ノ記載其他書記ノ事務ニ付テノ現行ノ規則ニ從フヘシ但本規則第十一條及區裁判所書記規則第二十八條ニ掲ケタル裁判所書記及檢事局書記ノ事務區域ニ關スル規程ハ之ヲ斟酌シテ適用スヘキモノトス若シ事務區域ニ付疑アルトキハ控訴院長及檢事長之ヲ協議規定スヘキモノトス

附則

第十七條

書

式

(用紙美濃紙)

書式目錄

番號	簡規 條則	名稱	符號文字
一	四	日記	
二	六	庶務記錄帳簿	
三	七	定期簿	
四	九	執達委任簿	
五	一〇	檢事關係訴訟事件簿	い
六	一三	前手續事件簿	ろ
七	一四	刑事事件簿	には
八	一五	共助事件簿	キシ
九	一六	物品受渡簿	



某區裁判所  
檢事局

日記

明治何年何月

自何號至何號

第一號(規則第四條)

日記ノ進行番號ヲ記ス

書名	頁數	備考
第一號	四	
第二號	六	
第三號	八	
第四號	十	
第五號	十二	
第六號	十四	
第七號	十六	
第八號	十八	
第九號	二十	
第十號	二十二	
第十一號	二十四	
第十二號	二十六	
第十三號	二十八	
第十四號	三十	
第十五號	三十二	
第十六號	三十四	
第十七號	三十六	
第十八號	三十八	
第十九號	四十	
第二十號	四十二	
第二十一號	四十四	
第二十二號	四十六	
第二十三號	四十八	
第二十四號	五十	
第二十五號	五十二	
第二十六號	五十四	
第二十七號	五十六	
第二十八號	五十八	
第二十九號	六十	
第三十號	六十二	
第三十一號	六十四	
第三十二號	六十六	
第三十三號	六十八	
第三十四號	七十	
第三十五號	七十二	
第三十六號	七十四	
第三十七號	七十六	
第三十八號	七十八	
第三十九號	八十	
第四十號	八十二	
第四十一號	八十四	
第四十二號	八十六	
第四十三號	八十八	
第四十四號	九十	
第四十五號	九十二	
第四十六號	九十四	
第四十七號	九十六	
第四十八號	九十八	
第四十九號	一百	

	二	一	一	號 番 行 進 年 每
	二	一	二	日 月 ノ 來 到 類 書
	二 (ろ)	一 (ろ)	三	號 錄 記
	何某	何某	四	ノ 差 出 人 氏 名
	告發	告訴	五	大 書 面 ノ 要
	某	某	六	氏 ノ 事 檢
	一五	一〇	七	日 月 ノ 令 命
	二	一	八	モ タ 下 ニ 直 申 ノ ル シ 却 千 員 進 行 爲 其 後 ノ 處 分 ノ 爲 記 録 送 付 分
	浦和區 檢事局へ		九	先
	二〇	一	十	日 月 終 局 ト シ テ 記 録 ニ 附 シ

一 此日記ハ一ヶ月毎ニ之ヲ作ル事務僅少ナル檢事局ニ於テハ  
 一 帳簿中ヲ區別シテ之ヲ記スルコトヲ得  
 一 第一欄ハ一年ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件  
 ノ順序ニ從ヒ數ヲ逐テ記入スルモノトス以下毎年進行番號  
 ノ欄皆同シ  
 一 第三欄ノ記録號トハ規則第三條ニ掲クルモノヲ謂フ以下記  
 録號ノ欄皆同シ  
 一 第二欄第七欄第九欄第十欄ノ月日ヲ記入スルニ年ヲ跨ルト  
 キハ年ノ數ヲ傍記ス(例ヘハ明治廿三年一月五日ナレハ二三  
 ト記スルノ類ノ如シ)以下月日ヲ記スルノ欄皆同シ  
 一 第八欄第九欄ハ書類ノ裁判所ニ止マラザルトキニ用ヒ第十  
 欄ハ書類ノ裁判所ニ止マルトキニ用ユルモノニシテ第九欄  
 ニハ記録遞付先ト月日ヲ記入シ第十欄ニハ處分濟ノ書類ヲ

記録ニ編入スル月日ヲ記入ス  
 第八欄ノ申立ハ告訴告發等ノ申立ヲ謂フ直チニ却下シタル  
 モノトハ別ニ搜查ノ手續ヲ爲サス其申立ヲ却下シタルモノ  
 ヲ謂フ直ニ管轄廳ニ送致シタルモノトハ別ニ搜查ノ手續ヲ  
 爲サス其申立ヲ管轄ノ裁判所等へ送致シタルモノヲ謂フ

第二號(規則第六條)

明治何年

庶務記録帳簿

某區裁判所  
 檢事局

令 類 聚


法 律 命 令 壹

	二	一	一	號	番
	、	六 明治	二	度	年
	、	司法省訓令類聚	三		記 錄 名 稱
		一	四	數	冊
			五	年度	既 濟
		永久	六	ル 年	ノ 終 保 存
			七		備 考

ノモルス關ニ通交務事


ノト廳官他口ノ貳

	二	一	一	號	番
	、	二〇 明治	二	度	年
	、	警察署往復綴	三		記 録 ノ 名 稱
	、	一	四	數	冊
			五	年度	既濟
			六	ル年	ノ終 保存
			七		備  考

補 試 及 事 檢 イノ參

		一	號	番
		二	度	年
		三	記 錄 ノ 名 稱	
		四	數	冊
		五	年度	既濟
		六	ル年	ノ終 保存
		七	備 考	

+

明治  
二〇

檢 事 何 某

何何  
冊冊

一三

二九

免 職

一 庶務記録ハ數節ニ分チ之ヲ登記ス例ヘハ

第壹節 法律命令及説明

壹ノイ 法律命令ノ類聚

壹ノロ 民事訴訟ニ關スルモノ

壹ノハ 刑事訴訟ニ關スルモノ

壹ノニ 訴訟費用ニ關スルモノ

壹ノホ 雜

第貳節 檢事局ノ構成及組織

貳ノイ 檢事局ノ構成及組織ニ關スルモノ

貳ノロ 他官廳トノ事務交通ニ關スルモノ

貳ノハ 書記以下職員ニ關スルモノ

貳ノニ 圖書及什器ニ關スルモノ

貳ノホ 雜

第參節 身分

參ノイ 檢事及試補

參ノロ 書記及雇

參ノハ 廷丁及小使

參ノニ 雜

第肆節 統計表諸報告

肆ノイ 刑事統計

肆ノロ 事務一覽表

肆ノハ 雜

一 第二欄ニハ記錄ノ年度ヲ記ス

一 第五欄ノ既濟年度トハ記錄ノ不用トナリタル年度ヲ謂フ

一 第六欄保存ノ終ル年トハ記錄ノ既濟トナリタル後其保存ス

ヘキ年度ヲ謂フ以下保存ノ終ル年ノ欄皆同シ

第三號(規則第七條)

明治何年

定期簿

某區裁判所  
檢事局

日何月何

二	一	一	號	番	行	進	日	每	期
(ろ)	(ろ)	二	號	錄				記	
二	一	三	號	番	ノ			日	
某事件	某ヨリ某	四	標					事件ノ	日
午後	午前	五	刻	時	ノ			期	
某	某	六	事ノ氏	主任檢	付テノ			期日ニ	
二〇	一〇	七	備考	番號及	日記ノ	證スル		終局ヲ	
一五	一〇	八	號	番	行	進	日	每	期
(ろ)	(ろ)	九	號	錄				記	
一	一	十	番號ノ日	ル書ノ月	シタノ月	命令ヲ記	命令	命令	
某事件	某事件	十一	標					事件ノ	間
四〇	三〇	十二	ノ番號	ハ取扱書類				終局書類又	
		十三		備考					

一 此定期簿ハ書記毎ニ一冊ヲ作ル

一 第一欄第八欄ノ毎日進行ノ番號ハ一日ニ取扱フ事件ノ數ヲ起見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ期日、期間毎ニ數ヲ起シ順次數ヲ逐テ記入ス以下毎日進行番號ノ欄皆同シ

一 第三欄日記ノ番號ハ書式第一號日ニ記シタル書類ノ番號ニシテ檢事期日ヲ定ムルノ命令ヲ記シタル書類ノ番號ヲ謂フ

一 第七欄ニハ第三欄ノ書類ニ記スル命令ニ因リ成立チタル書類等ノ番號即チ日記ニ記スベキ番號及備考ヲ記入ス若シ期日前事件結了シタルハ其事由ヲ記入シ期日ニ處分ヲ要セザルコトヲ表ス

一 第十欄「イ」ニハ日記ニ記シタル書類ノ期間ヲ定ムル命令ノ番號ヲ記入シ「ロ」ニハ命令ノ月日ヲ記入ス

一 第十二欄ニハ第十欄ノ書類ニ記スル命令ニ因リ成立チタル



書類等ノ番號ヲ記入ス別ニ成立ツ書類ナキトキハ第十欄ノ  
書類ノ番號ヲ記入ス若シ期間前ニ事件結了シタルトキハ其  
事由ヲ第十三欄ニ記入シ期間ニ處分ヲ要セザルコトヲ表ス

第四號(規則第九條)

明治何年

執達委任簿

某區裁判所  
檢事局

毎日	進行	番號	一月	二月	三月	四月	五月
交付	ノ	月日	二	一	三	四	五
記録號	二	三	六	五	一	二	三
刑事被告人ノ氏名	二	三	(は) 二	(は) 二	一	三	一
返納	ノ	月日	何	何	何	何	何
			某	某	某	某	某
			八	六	一	二	三
			一	一	一	一	一

一 此委任簿ハ執達吏毎ニ一冊ヲ作ル

一 第二欄ニハ書記月日ヲ記入シ執達吏領収ノ證トシテ之レニ捺印ス

一 第四欄ニハ刑事被告人ノ氏名ヲ記入ス

一 第五欄ニハ送達證書ノ正本ヲ検事局ニ返納シタルトキ又ハ交付證書ヲ検事局ニ差出シタルトキ書記其月日ヲ記入ス

明治何年

檢事關係訴訟事件簿

第五號(規則第十條)

某區裁判所  
檢事局

一 號 番 行 進 年 每		二 號 錄 記	
一	二	一	二
イ	何 某	イ	何 某
三	何 某	三	何 某
四	再 審	四	養 料 支 拂
イ	二	イ	一
五	テ 棄 却 ス	五	フ 言 渡 ス
イ	二	イ	一
六	年 終 ノ 存 保	六	年 終 ノ 存 保
七		七	

氏名身分職業住所又ハ現在地

原 告 人

被 告 人

標 的 事 件

日 月 判 定 決 定 ノ ル

要 旨

備 考

一 第一欄ニハ檢事立會事件ノ進行番號ヲ記入ス  
 一 第六欄「イ」ノ既濟年度トハ記録ヲ既濟トシテ藏置スル年度  
 ヲ謂フ以下既濟年度ノ欄皆同シ

ろ

前手續事件簿

明治何年

第六號(規則第十三條)

某區裁判所  
檢事局

Faint red text bleed-through from the reverse side of the page, including characters like '明治何年' and '第六號'.

毎年	進行	番號	被告人ノ氏名身	分職業住所又ハ	現在地
二	一	二	住所身分職業 何 某	住所身分職業 何 某	二
三	一 二 三	二 〇	事 實 取 調 命 令 ヲ シ テ 行 ハ ル 日 月	調 命 令 ヲ シ テ 行 ハ ル 日 月	三
四	一 二 三	一 〇	捜 査 手 續 ヲ 行 ハ ル 日 月	止 ヲ 行 ハ ル 日 月	四
五	二 一 三	二 一 三	檢 査 事 起 ノ 日 月	起 ノ 日 月	五
六	二 一 三	二 一 三	公 判 爲 出 狀 ヲ 發 シ テ 行 ハ ル 日 月	呼 出 狀 ヲ 發 シ テ 行 ハ ル 日 月	六
七	二 三 九	二 三 九	既 濟 年 度 ノ 終 年	既 濟 年 度 ノ 終 年	七
八			保 存 ノ 終 年	保 存 ノ 終 年	八
			備 考	備 考	

一 第三欄ニハ警察官等ニ命令シ犯罪ノ捜査ヲ爲サシメタル場  
合ニ於テ其捜査ヲ命令シタル月日ヲ記入ス第四欄ニハ捜査  
ノ手續ヲ停止シ起訴セサルコトニ決シタル月日ヲ記入ス  
一 第五欄ニハ輕罪又ハ違警罪トシテ公判ヲ請求シタルコト及  
其月日ヲ記入ス  
一 第六欄ニハ公判ノ爲呼出狀ヲ發シタル月日ヲ記入ス  
一 檢事實ノ取調ヲ爲シタル後他ノ裁判所へ送致シタル事件  
ハ備考ノ欄ニ之ヲ畧記ス

は、  
に

刑  
事  
事  
件  
簿

明  
治  
何  
年

第  
七  
號  
(  
規  
則  
第  
十  
四  
條  
)

某  
區  
裁  
判  
所  
檢  
事  
局

九	一ノ	九	一ノ	二三	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
二	業 現在地身分職 業 何某	一	住所身分職業 何某	竊盜	竊盜	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二
九	一ノ	九	一ノ	二三	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
二	業 現在地身分職 業 何某	一	住所身分職業 何某	竊盜	竊盜	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二
九	一ノ	九	一ノ	二三	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
二	業 現在地身分職 業 何某	一	住所身分職業 何某	竊盜	竊盜	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二	輕罪 一	輕罪 二

一 第一欄ニハ公判ノ爲最初呼出狀ヲ發シタル月日ヲ記入ス  
 一 第四欄ニ罪名ヲ記入スルトキ數罪俱發ノモノアルトキハ其  
 重モナルモノヲ記入ス  
 一 第六欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ手續ノ終局區別ヲ見ル爲ニ  
 各事件ノ符號文字ヲ記入ス  
 「イ」ノ小欄ニハ總テ本案ノ判決ヲ爲シタル事件ヲ記入シ「ロ」ノ  
 小欄ニハ總テ判決ナク終局シタル事件ヲ記入シ「ハ」ノ小欄ニ  
 ハ控訴ノ上終局シタル事件ヲ記入シ「ニ」ノ小欄ニハ上告ノ上  
 終局シタル事件ヲ記入ス  
 控訴審ニ於テ原判決ヲ取消シタルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ略  
 記ス上告審ニ於テ原判決ヲ破毀シタルトキモ亦備考ノ欄ニ  
 之ヲ略記シ且上告裁判所其事件ヲ自ラ判決シ又ハ原裁判所  
 或ハ他ノ裁判所ニ移シタルコトヲ記入ス



一第七欄「ロ」ノ小欄ニハ確定シタル刑名刑期及金額ヲ記入ス若シ罰金科料ヲ禁錮拘留ニ換エタルトキハ其刑期ヲ傍記シ備考ノ欄ニ其事由ヲ記入ス

第八號(規則第十五條)

明治何年

共助事件簿

キシ

某區裁判所  
檢事局

物品受渡簿

明治何年

第九號(規則第十六條)

某區裁判所  
檢察局

一第四欄「ロ」ノ小欄ノ事務番號トハ規則第四條ニ規定スルモノヲ謂フ

		二	一	一	每年進行番號
		二	一	四 一 二 三	二 日月ノ託囑
		檢事局	橫濱區	浦和區	三 官廳
		竊盜	竊盜		四 標ノ事件
		(は) 二 三 五	(は) 二 三		五 號務ノ官廳
		查ノ件	某所在搜	件 某勾引ノ	五 要旨
		年月日某警察署へ所在捜査方ヲ指揮ス	年月日某警察署へ勾引方ヲ指揮ス		六 要旨
		一ノ二〇	橫濱		七 終局ノ爲ニ月ノ名ル官廳及
				一ノ七	八 日其法局ノ其月及方終他
					九 備考

一	二	三	四	五	六	七
毎年進行番號	一	二	三	四	五	六
受領ノ日月	一三	二一	二二	二五	二七	二八
事ノ標目	某竊取品	某豫納金				
記録ノ號	二二三	二二三	二二三	二二三	二二三	二二三
物品ノ種類	一男物綿入參	一金拾圓	一銀側時計壹			
引渡ノ日月	二二三	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
證據	一綿入參 一某へ渡ス 一時計壹 一某へ渡ス	一某へ渡ス				
備考						

一 第一欄ハ一年ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ數ヲ逐テ記入ス以下毎年進行番號ノ欄皆同シ  
 一 第四欄ノ記録號トハ規則第三條ニ規定スルモノヲ謂フ  
 一 第六欄中「イ」ノ小欄ニハ物品ヲ引渡シタル月日ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ引渡シタル物品ノ員數引渡ヲ受ケタル局課又ハ下付ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ記入シ捺印セシム  
 一 帳簿中金錢物品ハ略語ヲ用ユルヲ得例ヘハ百三拾五圓ヲ「一三五圓」ト記シ紙葉ノ二十八枚ヲ「二八枚」ト記スルノ類ノ如シ  
 一 沒收物品ヲ廢棄シタルトキハ第七欄ニ其旨ヲ記入シ書記署名捺印ス

